

抜穂祭 — 初穂刈り取りの儀 —

報社 あそみや

平成8年11月1日
第 19 号
発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
TEL 0957-43-5235

抜穂祭を終えて

阿蘇神社 宮司 大島 大明

神社の祭礼には農業、特に米作りに関わりのある祭が多く見受けられます。記紀に依ると稲は日本人の祖神とも仰ぐ天照大御神が、私達の祖先に授けられたものであるといえます。日本人は今日まで、日本の風土に適した稲作を基盤として生活を営んできました。日本の古名を豊葦原瑞穂国ともいいます。豊かに稲が瑞々しく稔る国と云う意味ですが、黄金色に穂った穂波を見る時、先人が「豊葦原瑞穂国」と名付けた思いを感じるこ

とが出来ます。稲はまさに日本の国柄そのものを象徴するものであるとともに、日本人にとって稲作は、神から授けられた神聖な営みであると云っても過言ではありません。六月に御田植祭で早乙女により手植えされた早苗は、立派に成育し稲穂となりました。今般の抜穂祭を奉仕終え、「豊葦原瑞穂国」を実感いたしました。

敬神生活の綱領

- 神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。
- 神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。
- ここにこの綱領をかかかけて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。
- 一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
 - 一、世のため人のために奉仕し、
 - 一、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
 - 一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
- 国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

平成八年度西彼支部献穀田

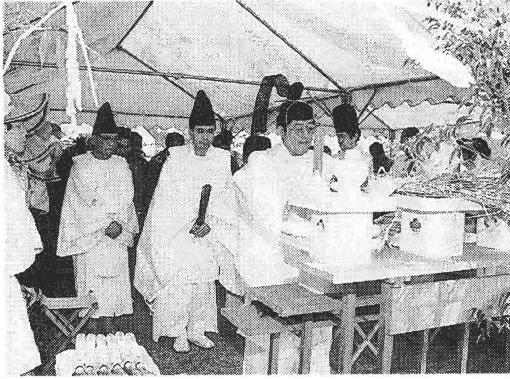
拔穂祭厳粛に

斎行される



十月十八日、長崎県神社庁西彼支部献穀田拔穂祭が市布名の斎田に於いて斎行された。

支部献穀田とは、神社庁西彼支部が毎年支部管内の神社を選定し、御田植祭と収穫祭である拔穂祭を



行ない、収穫された新米を支部管内に鎮座する九十四の神社に神饌として奉納しているもので、今年是多良見町（阿蘇神社）が当番と決定された。

阿蘇神社総代会では田の選定など対応に苦慮したが、市布名在住の内田弘氏より田の提供と、市布名関係各位の協力をいただくことが出来、今回の一連の諸行事が行なわれることとなった。

去る六月十二日、生憎の雨天であったが、御田植祭が恙なく終了、五名の早乙女により手植えされた早苗は、台風等の被害もなく黄金色の立派な稲穂と成育した。

十月十八日午前十時三十分、好天候に恵まれた祭場で、多数の参列者が見守るなか神事が開始された。先ず宮司が実り豊かなこと

を感謝する祝詞を奏上し、次いで耕作者（内田弘氏）と刈女の代表が田の中央に入り初穂を刈り取った。この最初に刈り取られた初穂は、翌日阿蘇神社と市布天満宮の神前に懸税（かけちから）として納められた。

その後市布名浮立の笛・太鼓の流れるなか、耕作者と五名の刈女は鎌を手に田に入り稲穂を手際良く刈り取った。刈り取りの儀が終了した後、宮司以下参列者が順次玉串を捧げて拝礼を行ない、拔穂祭の全ての行事を終了した。

引続き、公民館に場所を移し直会と祝賀会が催された。

御田植祭・拔穂祭と一連の行事



に協力をいただいた市布名の皆様方、耕作者、市布名浮立保存会の皆様、それに早乙女・刈女としてご奉仕いただきました御婦人方に心より感謝と御慰労を申し上げます。なお、阿蘇神社の市布名総代である松尾正一氏には、神社と市布名関係者との仲介、諸行事の準備にとご苦勞をお掛けした。神社宮司として御慰労と御礼を申し上げます。

また今回の御田植祭・拔穂祭の行事に際しましては、多くの方より御協賛と御祝いをいただきました。紙面の都合上、氏名の掲載は略させて頂きますが、御高配に対し衷心より厚く御礼を申し上げます。

例大祭終了

平成八年の

秋晴れの十月十五日、平成八年の例大祭が、氏子多数の参列のもと厳肅に齎行された。

午前十一時、宮司以下祭員が衣冠に身を正して参進し祭典が開始された。神前には神社本庁及び長崎県神社庁よりの幣帛料が供えられ、先ず宮司が年に一度の大祭を奉祝する祝詞を奏上、その後太鼓に併せ巫女が舞を奉納、最後に参列者の代表が順次玉串を奉って拜礼を行った。

祭典終了後、社務所に移動して祝賀会(直会)が行われた。先ず本寫吉松総代会長が挨拶。多良見町町長代理、喜々津農協小山好磨組合長が交々祝辞を述べた後、乾杯を行ない祝宴に入った。

◇◇◇◇◇
例大祭に際し、以下の方より御献納いただきました。御礼申し上げます。《順不同・敬称略》

- ◇御神酒奉納
十八銀行多良見町支店、諫早信用金庫多良見支店
- ◇初穂料奉納
親和銀行多良見支店、多良見町長、

喜々津農協組合長小山好磨、かこい組(株)池田忠憲、吉澤稔、(株)森開発 森 強、森正雄、清松正雄 以上

恒例

阿蘇神社奉納相撲大会終了

去る九月十五日、阿蘇神社奉納相撲実行委員会(会長松尾義光)主催により、恒例の「阿蘇神社奉納相撲大会」が行われた。町内団体戦・個人戦・町對抗戦それに抜き相撲と熱戦が展開された。当日の成績は以下の通り。

◆団体戦

優勝 中里

準優勝 井樋ノ尾

◆個人戦

◎四年生の部

優勝 吉智淳史(井樋ノ尾)

準優勝 徳永敬介(中里)

◎五年生の部

優勝 柳谷和佑(喜々津団地)

準優勝 田浦聖征(市布)

◎六年生の部

優勝 山口 譲(井樋ノ尾)

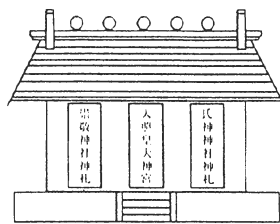
準優勝 徳永真義(中里)

準備より後片付けまで、実行委員会の皆様には大変お疲れ様でした。御礼と御慰労を申し上げます。

Q & A

神棚の祀り方

日本の家庭には、昔から神様をお祀りする神棚と祖先をお祀りする御霊舎や仏壇があり、毎朝夕、感謝のお祈りをささげて、和やかな明るい毎日の生活を送って参りました。



戸棚などの上を仮りの神棚としてお祀りしても差し支えありません。

一、お神札の祀り方

神棚のお社は、扉が一つのもの(一社造り)、扉が三つもの(三社造り)とがあります。一社造りの場合は、一番手前に神宮大麻、次に氏神様のお神札、奥にその他の崇敬する神社のお神札を納めます。

三社造りの場合は、

中央に神宮大麻、向かって右に氏神様、左に崇敬する神社のお神札を納めます。

一、お供えの仕方

神前の両脇に神を立て、神饌(米・酒・塩・水など)をお供えします。また珍しいものや初物をいただいた時には、その都度お供えをいたしましょう。

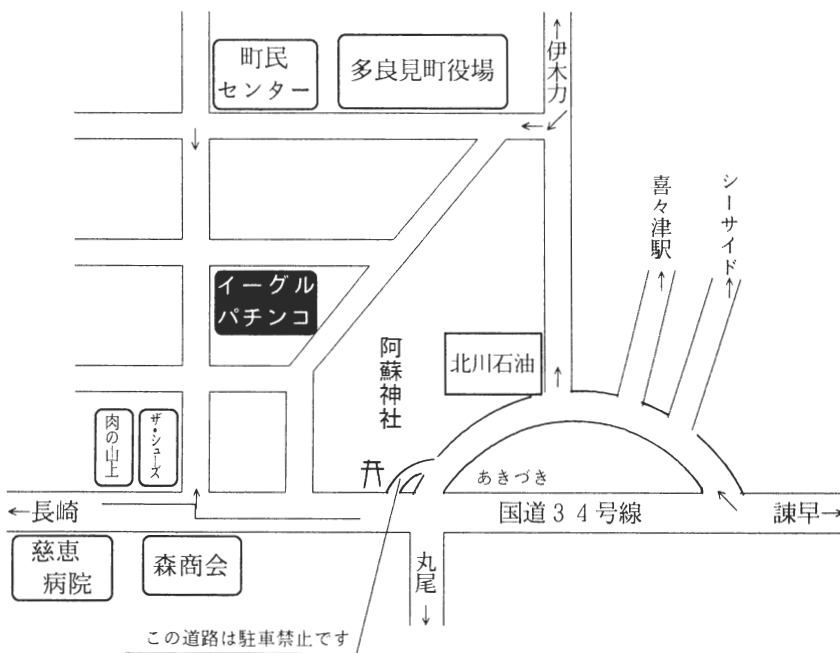
神棚の祀り方など、不明な事

がありましたら、遠慮なく神社までお尋ね下さい。

清めて、神棚や祖先の霊舎を拝し、清々しい気持ちで仕事につくことは、一日を意義あるものにしたします。家庭の守護神として、また家庭の心の拠り所として神棚を設け、氏神様とともに神宮大麻をお祀りいたしましょう。一、神棚の位置
神棚は、家庭の中心となる部屋で、明るく清浄な高い処に設けます。向きは、南か東の方を向くようにいたしましょう。(神棚がない家庭では、当分の間、

七五三詣では阿蘇神社へ!!

一般的に三才は男女、五才は男児、七才は女児がお参りをします。三才を「髪置」五才を「着袴」七才を「帯解」と云い、いずれも子供の無事成長を感謝し、今後の幸せを祈る祭りです。



平成8年七五三祝 数え年!

7才 平成二年生の女児
5才 平成四年生の男児
3才 平成六年生の男女共

◎神社では十一月十日(日)と十五日(金)、及び十七日(日)は終日七五三祈願の受付をいたします。
◎これ以外の日にご参拝の方は、

お手数ながら事前に神社まで連絡をお願いいたします。
◎十一月十日(日)は境内で記念撮影の受付もいたしております。
◎七五三詣でに自動車でお越しの方は、神社裏イーグルパチンコ店の駐車場を借用いたしておりますのでご利用下さい。(地図参照)

あとがき

◆奉納御礼◆
◎竹柄杓 五本 松尾春雄 殿
また、毎月境内の清掃奉仕をされています老人会誠会、多良見町ライオンズクラブ、遺族会の皆様方に衷心より厚く感謝申し上げます。

「あそみや」第十九号をお届けします。▼今年には台風の禍も無く米は豊作とのこと、喜ばしいことです▼今年当番となり市布名の田で行なった御田植祭・抜穂祭と一連の行事はテレビ・新聞で報じられ、町外よりも多くの称賛を頂いた▼衆議院議員総選挙も終ったが、低投票率とのことで寂しい限りである。当選した議員各位のご健勝と選挙時の公約の実践とを願いたい▼朝夕の冷え込みも日毎に厳しくなってきました。ご自愛専一にお過しください。

◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)イーグルパチンコ
神社参拝の駐車場としてもご利用下さい